

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和 年 月 日

事業所名 放課後等デイサービスさくら西隈館

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	1	3	・場面に応じて2階を利用している。	・利用児童が多い時は狭く感じる。 ・2階のスペースをもう少し工夫して活用したい。 →机やテーブルなどを移動して活動に支障ないように行っていきながら、2階の作業室も開放していく。
	2	職員の配置数は適切である	2	2		・学校を掛け持ちでお迎えに行くことがある。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	4			・適切だと思う。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	1	3		・みんなで話しをして計画、実行出来ている。 ・目標に対して少ししか出来ていないと思う。 ・出来ている時、出来ていない時の差がある。 →月に一度業務改善についてスタッフで話し合う機会を設け業務改善に取り組んでいく。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	3	1		・1年に1度アンケートを行っている。 ・アンケートを元に保護者の意見などを把握し改善につなげるようにしている。 →意見や意向を業務改善会議の中で把握していく。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している		4		・ホームページに公開されるという事を聞いていない。 ・公開されているのか分からない。 ・ホームページがある事を知らない。 →ホームページの有無を確認し、スタッフや保護者に周知し、情報公開を行っていく。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		4		・第三者の外部評価がどうであるか分からない人が多いと思う。 ・第三者による外部評価があるのか分からない。 →外部評価の有無を確認したうえで、スタッフへ周知する。その後外部評価、業務改善へとつなげていく。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	2	2		・コロナ以前は研修等行われていたが、現在は出来ていない。 →これから研修は定期的に開催される予定である。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	2	2		・アセスメントをみんなで確認し、支援に活かしている。 ・聴き取りを行った後、スタッフで話し合い分析したうえで作成している。 ・アセスメントの変更があまり出来ていない(保護者から伝え聞いたもののみ) →アセスメントシートが容易に更新出来るようデータ化していく。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3	1		・アセスメントツールを使用している。 →現在、標準化されたアセスメントツールを使用している。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	1	3		・立案するスタッフが特定されている。 ・チームで出来ている時、そうでない時がある。 ・チームでは出来ていない。 →活動や行事に関するミーティングを月1回開催するようにしていく。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	2	2	・どんな事をしたいか児童にアンケート行う事もある。	・固定化しているかもしれない物は理由があるものが多い。 ・固定化している。 ・スタッフ間で話し合って活動を決める事もある。 →児童に行ったアンケートや他事業所との意見交換を行いながら固定化しないようにしていく。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
適切な支援の提供	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	1	3		・出来ていると思う。 ・きめ細やかに設定は出来ていない。 →行き当たりばったりにならないように計画的に課題や目標を設定していく。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	2	2		・計画が具体的でないものが多い。 ・個別活動が固定化してしまっている。 ・児童や状況に合わせて作成出来ている。 →個別活動については、児童の特性に合わせた物を提供していくように検討する。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	3	1		・特定のスタッフしか確認しようとする心構えがないように見える。 ・みんなで流れや注意点など確認して支援に入る。 →継続して行ってい、スタッフ全員が支援の内容や役割分担について確認していくようにする。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4			・その日の反省点や良かった事など共有するようにしている。 ・記録を行う際にスタッフ間で共有している。 →継続して行っていく。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4			・記録の際にスタッフ間で情報を共有しながら記録に努めている。 →継続して行っていく。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	4			・出来るだけスタッフが全員いる日などを使い、モニタリングするようにしている。 →継続して行っていく。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている		4		・ガイドラインが分からない。 ・出来ていないと感じる。 ・出来ているものとそうでないものがある。 →ガイドラインについて、スタッフそれぞれが周知出来るよう読み合わせなど行っていく。
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4			・自発管と児童指導員でサービス担当者会議に参加出来ている。 →継続して行っていく。
関係機関や保護者との連携	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	2	2		・協力的な学校が多い中、非協力的な学校もある。 ・こちらから歩み寄り質問などするが、あまり答えてくれない事の方が多い。 →継続して行いながら、協力出来ない学校にも協力を仰いでいく。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	2	2		・現在医療的ケア児童の利用はないが、利用がある場合は、連携をとっていく。 ・服薬などはアセスメントシートや保護者に確認している。 →今後医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、主治医だけでなくご家族とも連携、連絡体制を整えていくようにする。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	1	3		・出来ている場合と全く出来ていない場合の両極端です。 ・どんな支援が必要か情報共有している。 ・サポートブックなどで共有出来ている場合や出来ていない時がある。 →情報共有は出来るように、相談支援事業所も含めて、今後も情報共有と相互理解は行っていく。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	2	2		・移行がほぼない。 ・系列の事業所への移行時は、情報共有できていると思う。 ・アセスメントの記録を基に出来ていると思う。 →移行の機会がほぼないが、相談支援事業所を介するなどして、担当者会議などで情報提供は行っていきたい。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		4		・専門機関との連携は出来ていない。 →地域の児童発達支援センターや発達障害者支援センター連携は取りながら、専門性を高める為に研修が出来ればと考える。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		4		・活動(公園での外遊び)の中で近隣の小学校の児童と接する機会はあるが少ない。 ・コロナの関係で交流する機会はない。 →コロナ禍で交流などは出来ていないが、今後、児童クラブなどと交流の機会を作っていきたい。	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		4		・出来ていない。 →協議会へは参加するようにしていき、情報共有など出来ればと思う。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達状況や課題について共通理解を持っている	4			・日々、送迎(送り)時に伝えたり、保護者に会えなかった時などは電話にて伝えている。 ・話せる機会がある時は、出来るだけお話すようにしている。 →継続して行っていく。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		4		・出来ていない。 →、今後会員が助言等出来るよう研修会の機会を設け、参加していく。	
	保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	1	3		・出来る限り行っているが、運営規定については行っていない。 ・支援の内容以外は出来ていると言えない。 →契約時に説明等を行ってはいるが、どのスタッフでも説明出来るよう研修などの機会をつくっていきたい。
		31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	2	2		・しっかりと話を聴き、出来る限りの助言や支援を行う。 ・悩みに対する対応は出来ている。 ・出来ている時とそうでない時がある。 →一部のスタッフは出来ているが、経験の浅いスタッフでも助言や支援が出来るよう研修会などを行っていく。
		32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		4		・出来ていない。 →今後は定期的に保護者会等を開催していく。
		33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している		4		・他スタッフに声掛けするが、その後の対応の速さを指摘できていない事もある。 ・迅速な対応が適切に出来ていない。 ・対応が後手になってしまっている。 ・保護者が納得する解決が出来ているのか分からない。 →利用児童やご家族とのより良い関係を築いて行くためにも迅速に対応、解決を行っていく。
		34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	3	1		・行事予定や活動についてなどコドモンにて配信(発信)出来ている。 ・出来ていない。 →定期的(3~4か月に1度)に会報などを配信出来るように検討していく。
35		個人情報に十分注意している	4			・個人情報には十分注意している。 →個人情報の取り扱いについては、今一度研修等を行い、守秘義務違反にならないよう努めていく。	
36		障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4			・児童によって配慮出来ている。出来る限り行っている。 →障害の特性を知った上でのコミュニケーションの取り方などをスタッフ間で話し合うなどして、障害のある子どもや保護者とのコミュニケーションを図っていく。	
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		4		・コロナの関係で出来ない。 ・出来ていない。 →今後、事業所の事、障害の事を地域の方々に知ってもらう事で、事業所での行事に招待していく。		
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	1	3		・マニュアルは存在するが、保護者への周知は出来ていない。 ・出来ていない。 ・マニュアルの存在を知らない。 ・マニュアルを作成して周知出来ている。 →マニュアルは策定している為、見直しを行った上でスタッフそれぞれが周知できるよう話し合わせなど行っていく。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている		4		<ul style="list-style-type: none"> 定期的な訓練は出来ていない。 →コロナ禍で訓練等が出来ていなかった為、今後は定期的に行っていく。
	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている		4		<ul style="list-style-type: none"> コロナ以前は研修等出来ていたが、現在は出来ていない。 虐待についての詳しい研修は受けていない。 出来ていない。 →社内研修、外部講師を招いての研修を再開していきたい。
	41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	2	2		<ul style="list-style-type: none"> 利用契約時に説明を行い、同意書を買っている。 保護者へも説明等行っている。 →虐待や身体拘束について、今一度研修を行っていく。
	42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4			<ul style="list-style-type: none"> アレルギーについては、ご家族や調理スタッフとも情報共有し、対応している。 →継続して行っていく。
	43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4			<ul style="list-style-type: none"> ヒヤリハットは作成しているが、作成数が少ないと感じる。(作成出来ていない時もある) →継続して行っていくとともに些細な事でも事故に繋がりがかねない為、些細な事でもヒヤリハット作成を行っていく。